



# スクールレポート

SCHOOL REPORT 76

学校生活の  
一コマを紹介

今回は、小学校での「オリジナルキャラの活躍」と中学校での「縦割り班活動」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

## 清田小学校「オリジナルキャラ“きよたん”大活躍」

### 優しい笑顔で、学校と地域を明るく元気に！

本校では、子どもたちから「オリジナルキャラクターを作りたい」という声上がり、図案と愛称を募集しました。こうして、誕生したのが清田小オリジナルキャラクターの「きよたん」です。春に校庭を囲んで咲く桜の花びらと、潮干狩りをするきれいな青い海のイメージから生まれ、愛嬌のある笑顔が特徴です。清田のよさが表れています。

運動会で初登場したときは、歓声上がり、すぐに人気者になりました。あいさつ運動や交通指導では、児童会役員や地域の方と一緒に校門に立ち、元気なあいさつで呼びかけました。地域の祭礼にも特別出演しました。学芸会では、劇に登場して懸命の演技で注目を浴びました。今や学校だけではなく、地域の人気者です。

子どもたちは、「きよたん！」と気軽に声をかけたり、スキンシップをしたりするなど、子どもたちの笑顔が増え、あいさつの声も大きくなってきました。

これからも、「きよたん」の優しい笑顔で、校区全体を明るく元気にしていきます。



▲あいさつ運動に参加する“きよたん”

## 赤羽根中学校「心をつなぐ生徒会縦割り班活動」

### 全体が一体となって、心をつなぐ



▲新入生歓迎会でのゲームの様子

赤羽根中学校では、3学年を混ぜた4チームの縦割り班を編成し、行事などでこのチームで活動することがよくあります。縦割り班活動は、3年前から始まり、生徒会が中心となって運営しています。

特に、新入生歓迎会、体育大会、文化祭で、この縦割り班活動が力を発揮します。

新入生歓迎会は、入学したばかりの1年生が早く学校に慣れ、全校生徒が先輩後輩の垣根なく活動できるように、班の中の自己紹介や縦割り班対抗ゲームをして楽しみます。

体育大会では、生徒会種目として縦割り班対抗ゲームが行われます。職員も一緒に参加して声を出し、手と心をつなぎ、楽しみます。

11月に行われる文化祭では、本校独特の取り組みがあります。それは「赤中LIVE」というコーナーです。決められたテーマで、縦割り班全員が協力して寸劇を創ります。舞台の上で動作をする役と、舞台下で台詞を言ったり効果音を出したりする役に分かれます。学年に関係なく、個性を尊重して役割が決められ、見ている人に笑いと感動を与えられるように、奮闘して演技します。

縦割り班活動は、学年を超えて心をつなぐ活動ととらえ、これからも大切にしていきたいと考えています。



▲文化祭で劇を演じる生徒たち